

## “よくある質問 Q & A”

—秋季府大会の地区予選会 開催に際して（一部 本大会も含む）—

### Q1：地区予選会は、開催されますか？

A1：今のところ、わかりません。

ご存じのようにコロナ感染状況が悪化し8/2～「緊急事態宣言」が発令されている中、地区予選会の開催に関しては当該地区教育委員会の指導方針に従わなければなりません。予選会開催の有無については、事前に地区専門委員より参加校にお知らせしますが、最終的には開催日前日にHP〔地区欄〕にて詳細をアップします。当日の混乱をなくすためにも、必ずご確認ください。

### Q2：地区予選会が開催されなくても、秋季府大会に参加できますか？

A2：男女新人団体戦については、府大会への出場を保障します。学校行事やコロナの措置により、予選会に出場しなかったような場合も同様に保障します。

今年度の秋季府大会は、10/16（土）大阪市立修道館で、午前中：女子新人団体戦・午後：男子新人団体戦のみを分割開催します。

学年別男女個人戦は開催しません。地区によっては予選会の中で、例年通り同種目を開催するかも知れませんが、本大会につながるものではありません。

### Q3：新型コロナウイルス感染症予防対策はしますか？

A3-1：できる限りの予防対策をします。※発熱や体調不良がある生徒は、参加しないこと。

本専門部作成の「公式試合ガイドライン」により、〔地区予選会の規模により多少異なります。〕

- ① 「健康状態確認書」の提出〔学校として、参加生徒全員分を所定用紙1枚で提出する。〕
- ② 当日朝の検温〔参加生徒が自宅で検温して、集合時に引率の顧問に報告すること。〕
- ③ マスク着用
- ④ 3密回避
- ⑤ 手指消毒
- ⑥ 手洗い
- ⑦ 大声を出さない（試合中：声援の禁止・拍手のみでの応援）

などが、大会ルール・最低限のマナーとなります。

A3-2：分割開催。

地区予選会の規模によっては、（例）女子新人団体戦終了後に男子新人団体戦・軽い階級個人戦の終了後に重い階級の実施など、会場のキャパシティ内での分割開催並びに無観客試合になる地区もあります。

**Q4：コロナ対策のためのルール変更などがありますか？**

A4-1：

- ① 絞め技は「禁止技」とします。〔審判が「待て」をかけて、反則は与えません。〕
- ② 基本的に地区予選会の開催に関しては、各地区専門委員に一任しています。そのため、地区によっては独自のルールを設けるところもありますが、本大会では、以下の通りとします。
  - i) 「柔道着検査」は実施しません。詳細は、添付データ「公式試合の柔道着について」をご覧ください。
  - ii) 頭部を打撲して、すぐに立てない・立つときにふらつくなどの状態になった場合は、「棄権」とします。
  - iii) 団体戦で、チームの勝敗が決したあとの対戦は行いません。（野球のコールド勝ちと同様）
  - iv) 代表戦でGSになった場合は、3分を越えた時点で1分間の休憩を取り、ベンチに下がられます。水分補給をしてもかまいません。
  - v) 主審・シュリー・ビデオケア係による、【新 1 審制】を導入します。〔副審の廃止〕

その他：

コロナ感染拡大状況・府教育委員会の方針を踏まえ、大阪中体連本部と、10/2の専門委員会にて本大会についてさらに協議します。その際、関係の皆様にご周知しておくべき事項が決まりましたら、再度HPにてお知らせします。

**関係者全員が、コロナに関するルールやマナーを守ることで、初めて安全で有意義な大会の開催が可能になります。ご理解ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。**

令和3年8月3日

大阪中体連柔道専門部  
大阪中学校秋季柔道大会本部  
代表 委員長 権藤利幸